

北海道浮魚ニュース

平成 11 (1999 年度 19 号 (通巻 No.65))

1999 年 9 月 21 日

北海道立中央水産試験場	Tel 0135-23-8707 Fax 0135-23-8709
釧路水産試験場	Tel 0154-23-6221 Fax 0154-23-6225
函館水産試験場	Tel 0138-57-5998 Fax 0138-57-5991
稚内水産試験場	Tel 0162-32-7177 Fax 0162-32-7171
網走水産試験場	Tel 0152-43-4591 Fax 0152-43-4593

平成 11 年度第 2 回太平洋スルメイカ漁況予報文発表

9 月 17 日北海道区水産研究所より 10 月～12 月を対象とした、太平洋スルメイカ漁況予報が発表されました。予測内容は次のとおりです。

スルメイカ漁況予測

予測期間 :1999 (平成 11) 年 10 月～12 月

予測海域 :常磐以北太平洋海域

予測漁業 :主にいか釣り漁業

各漁場への来遊量 :

常磐・三陸海域では、1998 年並みかやや上回る。

大畑・道南海域では、1998 年並みかやや上回る。

道東海域太平洋側では、1998 年並みかやや下回る。

根室海峡では、1998 年並み。

魚 体 外套長 22～24cm が主体

予測の根拠 - 道南 道東の漁況予測は以下の情報を基に作成されました -

各調査機関による一斉調査の結果、平均 CPUE* は 1998 年を下回ったが、有漁地点割合は 1998 年を上回った。

道南における 6 月～8 月の漁獲量は 1998 年を上回ったが、道東太平洋側主要港における 6 月～8 月の漁獲量は 1998 年を下回った。

・8 月～9 月の調査による漁獲物の外套長モード** は 20～21cm で前年並みであった。

* CPUE :自動いか釣り機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数

* 外套長モード :一番多く漁獲されたスルメイカの大きさ

オホーツク海スルメイカ情報

太平洋スルメイカ漁況予報では、オホーツク海での漁況予測は行われておりません。そこでオホーツク海スルメイカ情報として、8月下旬～9月上旬にかけて行われた調査結果を図1に示しました。調査機関は北海道区水産研究所(探海丸)、中央水産試験場(おやしお丸)、函館水産試験場(金星丸)、釧路水産試験場(北辰丸)です。北海道各水試の調査結果は、浮魚ニュース12～14号に載っておりますので、詳細についてはそちらを参照して下さい。

オホーツク海の漁況に最も影響すると考えられる、南部千島太平洋沿岸域および同海域オホーツク海側の調査結果は、北海道区水産研究所によると、分布は択捉島付近まで確認されたものの平均CPU Eは低い水準となっています。南部千島太平洋沿岸域の平均CPU Eは0.1(1998年0.5)、同海域オホーツク海側の平均CPU Eは0.1(1998年0.01)でした。道西日本海海域の平均CPU Eは前年(9.0)を下回る6.0でした。したがって、今年のおホーツク海へのスルメイカ来遊量は、1998年並みの低い水準と考えられます。

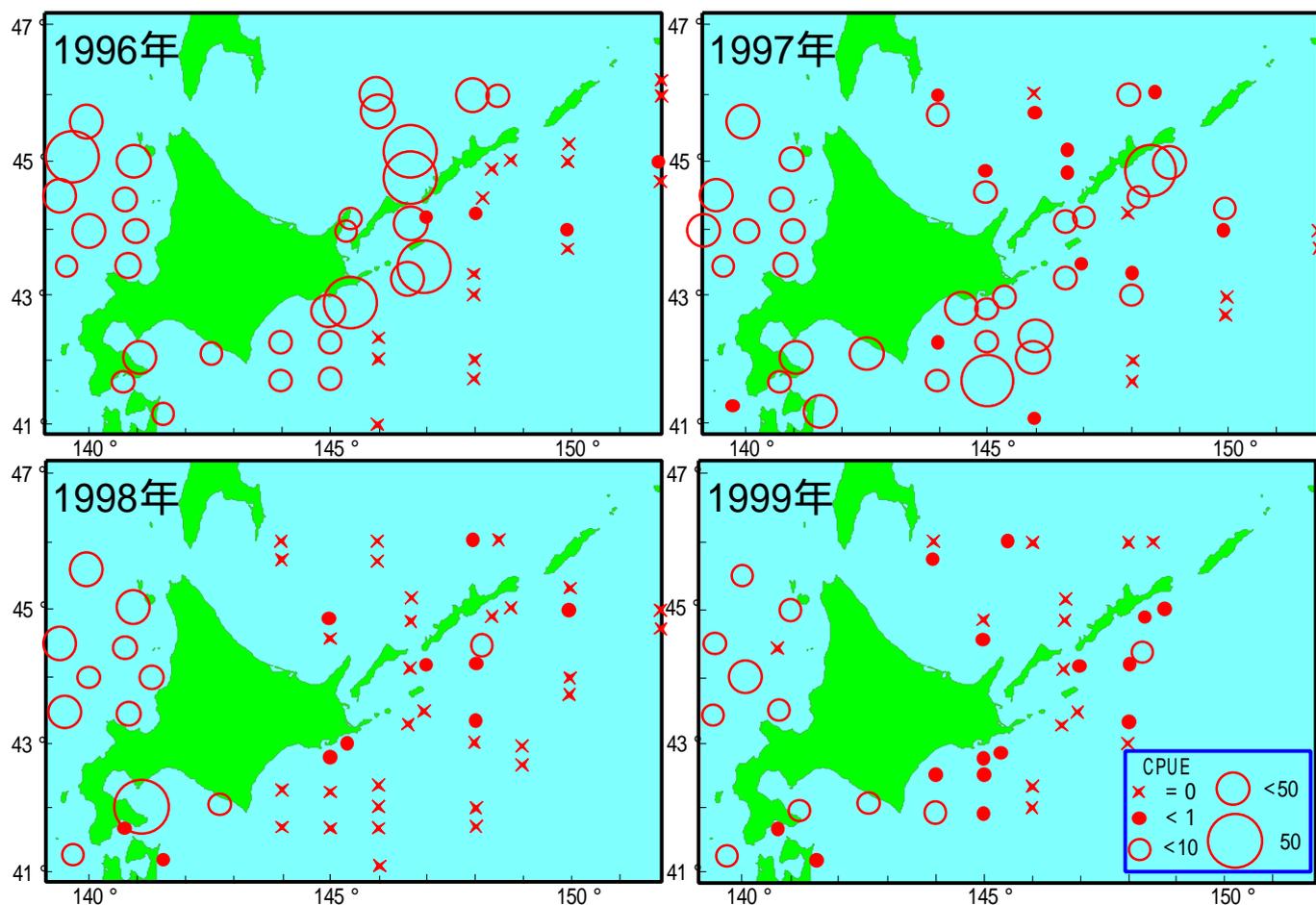


図1 北海道周辺海域におけるスルメイカ調査結果(8月下旬～9月上旬)

(文責 釧路水産試験場資源管理部
直通電話 0154-23-6222)